



1月の園だより

令和7年1月4日
目黒区立不動保育園 園長

新年、子どもたちの成長を願いながら希望に満ちた年を迎えられたことと思います。
本年もよろしくお願いいたします。

12月「ふゆのこどもかい」にご参加いただきありがとうございました。子どもたちは当日保護者の皆様の前で演じることができ満足感や達成感を得ることができたと思います。後日「子ども会で楽しかったことは」と聞きながら絵を描くと友達の姿、お母さんがビデオを撮ってくれているところなど緊張しながらも当日の様子を表現していました。他のクラスの劇を「演じてみたい」と言う子どもの発言もあり、「5歳児クラスの孫悟空」など配役を募集していくと「私は〇〇」と選び5歳児は細かく台詞まで教えてあげ一緒に台詞を言う姿がありました。3歳児のクレヨン、4歳児の虫のかくれんぼなどどのクラスの劇も演じていました、日々の練習の中で他のクラスの様子もきちんと見て覚えていて、動きや台詞など演じられることに驚きました。今年は例年以上に異年齢交流ができ、クラスを超えて仲も良いことから身近なものになったようです。5歳児の合奏では大太鼓に人気集中したため、4歳児は順番で曲に合わせて演奏していました。子どもたちにとって良い経験になったのだと感じました。

今年度、最後のクラス懇談会を計画しています。お忙しい時期と思いますが子どもたちの一年間の成長を伝え合えればと思います。ご出席をお待ちしています。



新年おめでとう会
お店屋さんごっこ

中旬 避難訓練
身体計測

<懇談会 日程>

- ・1月 5歳児クラス懇談会
- ・ 4歳児クラス懇談会
- ・ 1歳児クラス懇談会

- ・2月 3歳児クラス懇談会
- ・ 0歳児クラス懇談会
- ・ 2歳児クラス懇談会

全クラス 16:30～18:00 予定

クリスマス 作品紹介



0歳児
ツリー帽子



1歳児
クリスマスリース



2歳児
ブーツバック



3歳児
クリスマス
ツリー



4歳児
クリスマス
ブーツ



5歳児
芋づるリース



クリスマス制作の様子



0 歳児 (スズラン組)

ツリー型の帽子を作りました。保育士が子どもの前で緑の画用紙に絵の具を指に付けスタンプのように押すのを見て”何やっているの”と保育士の顔を見上げています。子どもの手を取り絵の具の皿に付けてみると、絵の具の感触に”なんだろう”と不思議に感じたようです。さらに一緒に「てんてん」と言いながら紙に付けてみると色が付き、“あっ”と驚いたような表情になりました。その後も繰り返していると、自分で手を伸ばしてやってみようとする子もいました。「てー」と言って紙に点を付けたり、手の平でバンと音がするほど力強く手形を押して保育士の顔を見て“できたよ。楽しい”と伝えてくれているようでした。これからも不思議だな、楽しい、自分でやってみたいという気持ちに共感しながら制作を楽しみたいと思います。

1 歳児 (チューリップ組)

クリスマスリースを作りました。緑色の画用紙に白いクレヨンで絵を描いたり、シールを貼ったりしました。白いクレヨンを「かきかき～」と言いながらご機嫌で滑らせています。手先がさらに器用になった子どもたちは、シール貼りで半月型や小さなシールも自分で台紙から剥がすこともできるようになってきて、どのシールをどこに貼ろうか考えながら飾りつけを楽しむ子もいました。完成すると「できた」「これいちご」と嬉しそうに見せてくれる姿がとても可愛らしいです。今後はスタンプ等も使ったり、イメージしたりする楽しさを味わっていききたいと思います。

2 歳児 (タンポポ組)

ブーツバックを作りました。画用紙の端の穴に毛糸を通して閉じ袋状にしてから、星などの飾り付けをしました。大人が画用紙に毛糸を通して、子どもたちが不思議そうに見ています。そんな子どもたちに毛糸を虫に例え穴を部屋に例えて「虫さん、ここのお部屋に入れるかな。やってみる？」と言うと笑顔になり、一回やってみるとすぐにコツを掴んで、次から次に毛糸を通す姿に感心しました。星を貼るときには、キラキラとした紙を触って保育士に笑いかけたり、「これも貼るー」とお皿を覗き込んで選んでいる姿がありました。これからも制作を通して、楽しい雰囲気の中で「できた」と嬉しさを感じられるようにしていきます。

3 歳児 (コスモス組)

日頃から子どもたちは折り紙を折ることが大好きで最近では本を見ながら作る姿も多く見られるため、クリスマス制作でツリーのオーナメントに折り紙を取り入れることにしました。子どもたちが好きな色を選び保育士と一緒に折っていく中で、「サンタクロースとオバケの折り方って似てるね」「ブーツはハートと同じだ」と、自分が知っている折り方が出てくると嬉しそうに話していました。銀色でサンタクロースを作ると、「今年はこの色のサンタクロースが来たりして…」と、想像を膨らます姿がかわいかったです。これからも作りたいものを形にする楽しさや、折れるものが増えていく喜びに共感しながら一緒に楽しんでいきたいと思います。



4 歳児 (マーガレット組)

クリスマスブーツを作りました。ペットボトルに丸めた新聞紙を付けて、つま先部分を作ります。「サンタさんのお鼻みたいだね」という子や、その部分をアルミホイルで覆った所をみて「ドライヤーみたいになった」と言っている子がいました。このやりとりから“にこっ”と笑いながらブーツを手にとって「乾かすね」「ブォー」とブローし合う姿が見られ、制作の過程で発見した形から色々なイメージを抱く子どもたちを微笑ましく感じました。ブーツには自分で折った折り紙のリボンを付けました。折り紙も段々上手になり、中折りの行程も大人が手伝わなくてもできるようになってきました。好きな色で折ったリボンをどこに付けるか悩みながら決め、完成すると中に入れるものを考えています。「サンタさんへのお手紙にする」「お菓子にする」と楽しそうに友達と話していました。子どもたちの豊かな発想を大事にしながら会話を楽しみ、これからも制作していきたいと思います。

5 歳児 (ヒマワリ組)

クリスマスリースは芋掘り遠足で持って帰ってきた芋づるに、様々な素材を使用して色、形を選んで自分の好きなように飾り付けをしました。「ここがいいかな」「この色の隣は同じ色じゃない方がいいかな」等と全体のバランスを見ながら付けています。モールを絡めて巻き付けたりボンドで張り付ける作業は初めてだったので苦戦していましたが「ここをこうするとうまいったよ」等と友達同士で教え合ったり、お互いの作品を見て「この所が素敵だね」と褒め合う姿もありました。様々な素材を使い材料の良さを見つけ、工夫して表現する制作をたくさん楽しんでいきたいと思います。